

**児童・生徒を対象とした支えあいの心育成事業**  
**「あなたならどうする？防災シミュレーションゲーム『クロスロード』で考えよう」**  
**に参加しました**

令和5年12月19日  
仙台市宮城野障害者福祉センター

令和5年12月2日（土）「あなたならどうする防災シミュレーションゲーム『クロスロード』で考えよう」に参加しました。当センターからは、現利用者3名、終了者の方3名の計6名の方々に参加して頂きました。

防災シミュレーションゲームには、西山児童館、西山中学校及び西山中学校PTA、西山町内会連合会、西山地域防災協議会、東仙台地区民生委員、宮城野区役所の保健師、燕沢地域包括支援センター、社会福祉協議会の方々と当センターの利用者・終了者が参加し、それぞれ8グループに分かれて活動を行いました。「震災から10年以上が経過し、当時の市民目線の経験を経験していない世代へと伝える機会を作っていくこと。」を目的とし、講師に「わしん倶楽部」の田中勢子先生をお招きしました。グループ内で直接意見を交換し、コミュニケーションが深まることで防災への取組み意識が高まりました。ゲームや体験を通して住民目線で防災について語り合い、地域には様々な立場の人がいること、互いに尊重し合う意識が醸成できること、また、世代間で伝え合うことができる大切さを知る機会となりました。

防災シミュレーションゲームは、「災害が発生しそうな場合にあなたならどう行動をとるか」について、子供の視点で行動を考えたり、ペットを飼っていたら避難所を利用するかなどの問いに対する自分の考えを発表したり、意見を交換する内容でした。参加者は設問に対して、それぞれがしっかりと答えたり、意見を述べる事ができていました。終了後には「考える機会をいただけて良かった。」や「防災について色々な角度から考える機会になり大変良かった。」などの感想が聞かれました。

これからも地域の方々との交流を図りながら、障害者の生活しやすい環境づくり、社会参加の支援と自立訓練の啓発を行っていければと思います。

